



The Greatest Leisure For All People  
 すべての人に最高の余暇を



フィールズ株式会社  
 証券コード：2767

2015年3月期  
**株主通信**  
 2014.4.1 → 2015.3.31

**VOICE & VISION**  
 CONTENTS

- 1 会長メッセージ
- 3 マネジメントレビュー
- 6 主要財務指標6年サマリー
- 7 連結財務諸表(要約)
- 9 IPTピックス
- 11 企業の社会的責任(CSR)への取り組み
- 12 IRコミュニティ
- 13 コーポレートデータ/株式情報
- 14 第三者によるフィールズの分析レポート



代表取締役会長 (CEO) 山本 英俊

## すべての人に最高の余暇を

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年4月、おかげさまで当社株式は東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係者の皆様のご指導ご支援の賜物と深く感謝しております。

私たちフィールズは、このたびの東証一部上場を、創業来の想いの実現に向けた新たなステージの始まりと捉え、今後より一層の決意と情熱を持ち、精進してまいる所存です。ここに謹んでご挨拶申し上げますとともに、今後とも何卒、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

## この世界に暮らすすべての人々に最高の余暇を創造し続ける企業であることを目指します。

私たちは「すべての人に最高の余暇を」という企業理念のもと、幅広いエンタテインメント分野で人々の心を豊かにする商品やサービスの創出に努めてまいりました。それは日本社会が成熟していく中で、心の豊かさを求める人々のニーズの高まりを自然の流れと考えたからです。

創業来、私たちは世の中のあらゆるエンタテインメントを俯瞰し、未来を予測しながら、人々の幸せと余暇の在り方について調査、研究を重ねております。その一環として、パチンコ・パチスロのエンタテインメント化にビジネスチャンスを見出し、多くの人々が楽しめる余暇として成長、発展させるべく様々な取り組みを進めてまいりました。とりわけ、キャラクターやストーリーといった知的財産にいち早く着目し、業界に先駆けて世の中に広く知られる知的財産を取得して、遊技機メーカーと協働で知的財産を活用した商品を企画開発してまいりました。さらに、取得した知的財産のマルチメディア展開を推進すべく、多様なエンタテインメント分野に事業領域を拡大いたしました。その過程で、各分野のクリエイティブに秀でた企業、最先端技術を有する企業とのパートナーシップを築き上げ、自らも人々に喜ばれるキャラクターやストーリーを創出すべく取り組みを始めました。

2012年5月には、コミックス、映像、ゲーム、マーチャンダイジング、ライブエンタテインメント、パチンコ・パチスロなど、従前から存在するエンタテインメントの各分野を有機的に結び付け、知的財産を循環さ

せるビジネスモデルを発表いたしました。取得・創出した知的財産を活用し、映像やゲーム、パチンコ・パチスロなど、あらゆるメディアを通じて世の中に届けることで、子どもから大人まで一人でも多くの人々が楽しめるエンタテインメントを創造しようと取り組みを進めております。またそのために、グループ全体のネットワークを活かした新たなモノ創りの仕組みとして、社員一人ひとり、様々な才能を持つものが有意義な情報に触れ、自らも価値ある情報を発信するクリエイティブ・コミュニケーションの仕組みも構築いたしました。

私たちフィールズは、グループ企業や多くのパートナーの方々とともに、キャラクターやストーリーによって驚きや感動を届け、この世界に暮らすすべての人々に、最高の余暇を創造し、提供し続けるため挑戦を続けてまいります。そして事業領域のみならず、復興途上にある被災地や子どもたちの未来のための支援活動においても、引き続き、キャラクターの持つ力を活用し、心の糧となるような「楽しい時間」や「夢いっぱい遊び」をお届けしてまいります。

これまで企業理念にご賛同いただき、多大なるお力添えを賜りました株主の皆様をはじめ、取引先や従業員、そのご家族の皆様へ深く感謝いたしますとともに、皆様からのご期待に応えるべく、今後ともまい進してまいりますので、引き続き、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2015年6月 山本英俊



大屋 高志

代表取締役社長 (COO)  
大屋 高志

### 2015年3月期の業績報告

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援ご愛顧に深く感謝申し上げます。

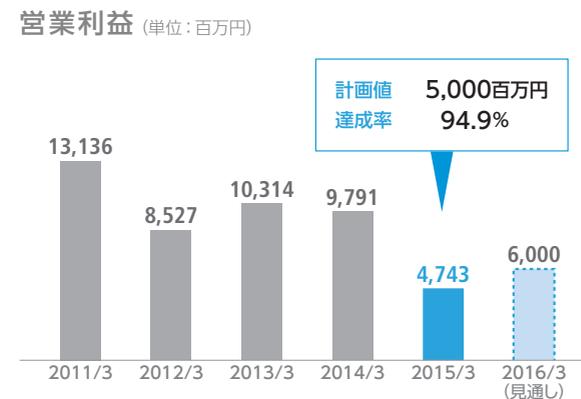
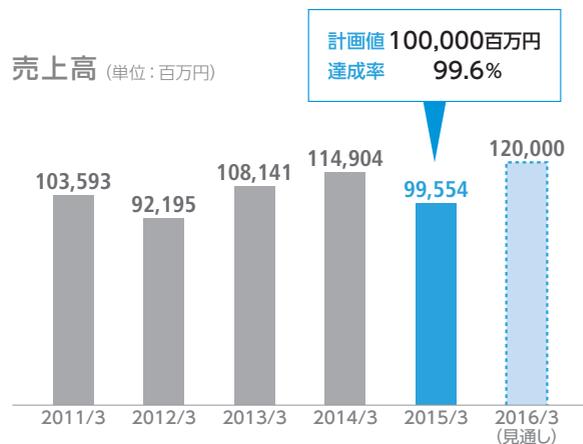
また、このたびの東証一部上場につきましては、株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様からのこれまでのひとかたならぬご支援ご高配に、重ねて厚く御礼申し上げます。

2015年3月期（当期）の連結業績は、売上高99,554百万円、営業利益4,743百万円、経常利益5,491百万円、当期純利益3,018百万円となり、期初の計画に対し、売上高、営業利益は概ね計画通り、経常利益、当期純利益については計画値を上回りました。

当期の遊技機販売事業においては、有力IP（知的財産）を搭載したパチンコ機の拡販に向けて、各種営業施策を推進しました。その結果、『CRエヴァンゲリオン9』をはじめとする各機種の販売台数が計画を上回り、パチンコ機の販売台数は302,000台（前年同期比139,000台増）となりました。

また、パチスロ機については、『パチスロ ベルセルク』をはじめ、投入した3機種はいずれも販売計画を上回りました。なお、2014年9月にパチスロ機の型式試験方法が変更されたため、当期中に計画していた5機種の発売を次期に延期することになりました。その結果、パチスロ機の販売台数は、97,000台（同132,000台減）となりました。

これにより、遊技機全体の販売台数は399,000台（同6,000台増）となりました。



主なIPの創出・事業化の取り組みは、次のとおりです。

当社グループは、中長期的な成長戦略として、IPをマルチメディアで展開する循環型ビジネスを推進してきました。この結果、当社の保有するIPや、IP創出の取り組みへの認知が拡がり、エンタテインメント分野の多様な企業との関係強化や、協業体制の構築が進展しています。

当期の主な取り組みとしては、コミックス誌『月刊ヒーローズ』を通じてIPの創出に引き続き注力するとともに、同誌掲載作品の映像展開を進めました。また、ゲームやパチンコ・パチスロ機へのIP展開が決定しました。

『ウルトラマン』シリーズは、IPのマルチメディア展開により、安定的に収益を確保しています。当期も継続的にテ

レビシリーズの放送や劇場映画の公開を行い、映像作品と関連した商品の拡販に努めました。また、海外においても既存映像作品の販売及び新規映像作品の企画を進めるとともに、複合施設などでの本格的なイベントを実施しました。

さらに、海外展開も見据え、『ウルトラマン』シリーズを活用した体感型のライブエンタテインメントショーを企画・制作し、公演を開始しました。

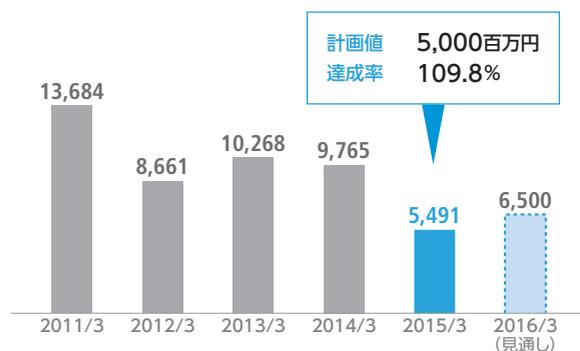
IPの収益基盤をめざすソーシャルゲームの分野では、運営体制、開発体制の効率化を推進し、各タイトルの品質の向上に努めました。とくに、『AKB48』を活用したタイトルは、新コンテンツの追加やリアルイベントなどの施策を実施しました。また、スマートフォン向けゲームでは、新感覚のゲーム性と魅力的なキャラクターを掛け合わせた新作アプリを順次、投入しました。



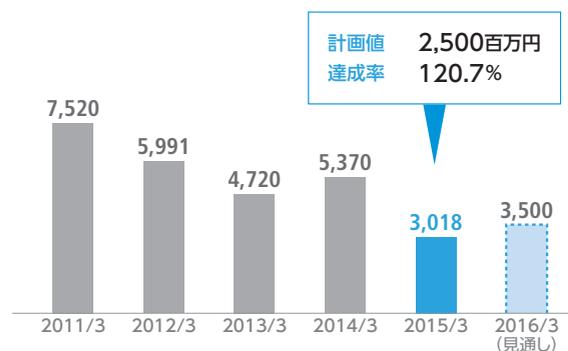
繁松 徹也

取締役副社長  
繁松 徹也

経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



### 2016年3月期の見通し

2016年3月期の連結業績は、売上高120,000百万円(前年同期比20.5%増)、営業利益6,000百万円(同26.5%増)、経常利益6,500百万円(同18.4%増)、当期純利益3,500百万円(同15.9%増)と増収増益を見込んでいます。

主力のパチンコ・パチスロの分野で、新規取引メーカー2社の商品の販売を開始する予定であり、総販売タイトル数並びに総販売台数の増加を見込んでいます。既に2015年6月現在、予定通りパチンコ・パチスロ新機種合わせて4機種の営業活動を開始しています。

また、ソーシャルゲームの分野で、タイトル数を絞り、新規性の高いタイトルを順次投入する予定です。

さらに、経営面においては、全社的にコスト意識をより一層高めて、すべての事業で建設的な見直しを推進していきます。

### 連結業績見通し (単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期	
	実績	見通し	前年同期比	
売上高	99,554	120,000	+20.5%	
営業利益	4,743	6,000	+26.5%	
経常利益	5,491	6,500	+18.4%	
当期純利益	3,018	3,500	+15.9%	
1株当たり配当金(円)	60 ※上場記念配当10円	50	-	
連結配当性向(%)	66.0	47.4	-	

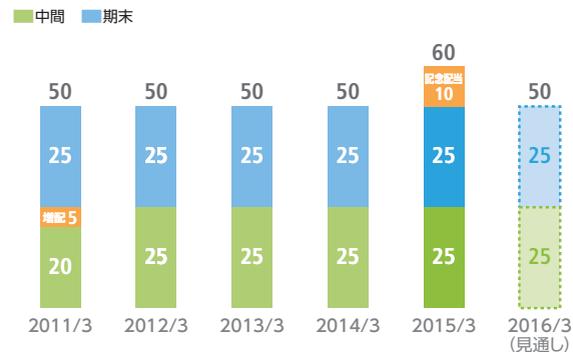
### 当期、次期の配当及び利益還元方針

2015年3月期の配当は、中間配当25円を実施し、期末配当では普通配当25円に東証第一部上場記念配当10円を加えた35円(年間配当60円)を実施しました。これにより、連結配当性向は66.0%となりました。

また、2016年3月期の配当は、中間配当25円、期末配当25円(年間配当50円)を予定しています。

当社は、企業価値の向上を経営の重要課題と位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。具体的な配当は、キャッシュ・フローの状況等を基準に決定しますが、連結配当性向の基準として20%以上を目指しています。内部留保については、財務体質と経営基盤の強化及び継続的な事業拡大と競争力の確保に向けた投資に有効活用していく方針です。

### 1株当たり配当金 (単位:円)



※ 2012年10月1日付で、普通株式1株を100株に分割しており、過去に遡って当該株式の分割を考慮した額を掲載しています。

### IRライブラリ

2015年3月期決算の詳細及びその他IR情報につきましては、当社IRサイトでご覧いただけます。

<http://www.fields.biz/ir/j/>



### 2015年3月期決算資料

- 決算短信
- 決算説明会 席上配布資料
- 決算 補足データ資料
- 有価証券報告書

## 6-Year Summary

### 主要財務指標6年サマリー

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
<b>経営成績(百万円)：</b>						
売上高	66,342	103,593	92,195	108,141	114,904	<b>99,554</b>
売上総利益	26,889	35,129	31,330	33,279	33,812	<b>28,468</b>
売上高総利益率(%)	40.5	33.9	34.0	30.8	29.4	<b>28.6</b>
営業利益	8,124	13,136	8,527	10,314	9,791	<b>4,743</b>
売上高営業利益率(%)	12.2	12.7	9.2	9.5	8.5	<b>4.8</b>
経常利益	7,761	13,684	8,661	10,268	9,765	<b>5,491</b>
売上高経常利益率(%)	11.7	13.2	9.4	9.5	8.5	<b>5.5</b>
当期純利益	3,289	7,520	5,991	4,720	5,370	<b>3,018</b>
売上高当期純利益率(%)	5.0	7.3	6.5	4.4	4.7	<b>3.0</b>
<b>財政状況(百万円)：</b>						
総資産	81,329	78,971	93,601	106,628	104,869	<b>110,316</b>
純資産	41,187	47,021	51,555	55,098	58,753	<b>60,246</b>
自己資本	41,064	46,779	51,071	54,559	58,279	<b>59,492</b>
有利子負債	2,230	1,834	1,660	1,052	743	<b>4,065</b>
<b>キャッシュ・フロー(百万円)：</b>						
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,429	8,005	10,015	13,570	16,322	<b>△9,086</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,011	△4,356	△4,798	△6,263	△8,018	<b>△6,297</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,687	△3,915	△2,565	△2,277	△2,018	<b>1,624</b>
フリー・キャッシュ・フロー	7,418	3,649	5,217	7,307	8,303	<b>△15,384</b>
<b>1株当たりデータ(円)：*</b>						
当期純利益	97.97	226.44	180.45	142.27	161.83	<b>90.97</b>
純資産	1,236.46	1,408.53	1,539.04	1,644.15	1,756.27	<b>1,792.83</b>
配当金	45	50	50	50	50	<b>60</b>
<b>主要経営指標(%)：</b>						
ROE(自己資本当期純利益率)	8.2	17.1	12.2	8.9	9.5	<b>5.1</b>
ROA(総資産経常利益率)	11.6	17.1	10.0	10.3	9.2	<b>5.1</b>
自己資本比率	50.5	59.2	54.6	51.2	55.6	<b>53.9</b>
配当性向	45.9	22.1	27.7	35.1	30.9	<b>66.0</b>

\* 2012年10月1日付で、普通株式1株を100株に分割しており、過去に遡って当該株式の分割を考慮した額を掲載しています。

2015年  
3月期の  
主な実績

- ▶ 通期業績
- ▶ 遊技機販売台数
- ▶ IPの状況

売上高995億円 経常利益54億円  
パチンコ30.2万台 パチスロ9.7万台  
総数150本／85メディアに展開

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	対売上比 (%)	当連結会計年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	対売上比 (%)	増減率 (%)
売上高 <b>POINT 1</b>	114,904	100.0	<b>99,554</b>	<b>100.0</b>	△13.4
売上原価	81,092	70.6	<b>71,086</b>	<b>71.4</b>	△12.3
売上総利益	33,812	29.4	<b>28,468</b>	<b>28.6</b>	△15.8
販売費及び一般管理費	24,020	20.9	<b>23,724</b>	<b>23.8</b>	△1.2
営業利益	9,791	8.5	<b>4,743</b>	<b>4.8</b>	△51.6
営業外収益	1,313	1.1	<b>1,213</b>	<b>1.2</b>	△7.7
営業外費用	1,339	1.2	<b>465</b>	<b>0.5</b>	△65.2
経常利益 <b>POINT 2</b>	9,765	8.5	<b>5,491</b>	<b>5.5</b>	△43.8
特別利益	29	0.0	<b>479</b>	<b>0.5</b>	1,521.4
特別損失	207	0.2	<b>215</b>	<b>0.2</b>	4.2
税金等調整前当期純利益	9,588	8.3	<b>5,754</b>	<b>5.8</b>	△40.0
法人税等	4,143	3.6	<b>2,430</b>	<b>2.4</b>	△41.4
少数株主損益調整前当期純利益	5,444	4.7	<b>3,324</b>	<b>3.3</b>	△38.9
少数株主利益	74	0.1	<b>305</b>	<b>0.3</b>	310.6
当期純利益	5,370	4.7	<b>3,018</b>	<b>3.0</b>	△43.8

**POINT 1** 売上高

売上高は、前期と比較して13.4%減の99,554百万円となりました。

これは主に遊技機販売において、パチンコの販売台数が伸長したものの、パチスロの販売台数が減少したことによるものです。

**POINT 2** 経常利益

経常利益は、前期と比較して43.8%減の5,491百万円となりました。

これは主に売上高の減少要因によるものです。

なお、営業外収益には受取配当金、仕入割引、持分法による投資利益、出資分配金が計上されています。

## 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2014年3月31日現在	当連結会計年度 2015年3月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産 <b>POINT 3</b>	66,921	<b>71,014</b>	<b>4,093</b>
固定資産	37,948	<b>39,302</b>	<b>1,354</b>
資産合計	104,869	<b>110,316</b>	<b>5,447</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債 <b>POINT 4</b>	41,730	<b>45,773</b>	<b>4,043</b>
固定負債	4,386	<b>4,296</b>	<b>△89</b>
負債合計	46,116	<b>50,070</b>	<b>3,954</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	58,670	<b>60,171</b>	<b>1,501</b>
その他の包括利益累計額	△390	<b>△679</b>	<b>△288</b>
少数株主持分	473	<b>753</b>	<b>280</b>
純資産合計 <b>POINT 5</b>	58,753	<b>60,246</b>	<b>1,493</b>
負債純資産合計	104,869	<b>110,316</b>	<b>5,447</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2013年4月1日から 2014年3月31日まで	当連結会計年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー <b>POINT 6</b>	16,322	<b>△9,086</b>	<b>△25,408</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,018	<b>△6,297</b>	<b>1,720</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,018	<b>1,624</b>	<b>3,643</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—	<b>△0</b>
現金及び現金同等物の増減額	6,284	<b>△13,760</b>	<b>△20,044</b>
現金及び現金同等物の期首残高	23,309	<b>29,583</b>	<b>6,273</b>
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10	—	<b>10</b>
現金及び現金同等物の期末残高	29,583	<b>15,823</b>	<b>△13,760</b>

### POINT 3 流動資産

流動資産は、前期末から4,093百万円増加して71,014百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が、前期末から16,732百万円増加して45,888百万円となったことによるものです。

### POINT 4 流動負債

流動負債は、前期末から4,043百万円増加して、45,773百万円となりました。これは主に「短期借入金」が、前期末から3,380百万円増加して4,014百万円となったことによるものです。

### POINT 5 純資産

純資産は、前期末から1,493百万円増加して、60,246百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が、当期純利益の増加により前期末から1,501百万円増加して46,049百万円となったことによるものです。

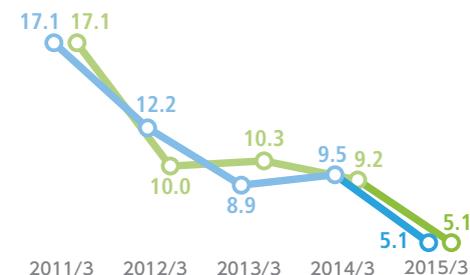
### POINT 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して25,408百万円減の9,086百万円の支出となりました。これは主に、「売上債権」の増加によるものです。この結果、フリー・キャッシュ・フローは前期と比較して23,687百万円減の△15,384百万円となりました。

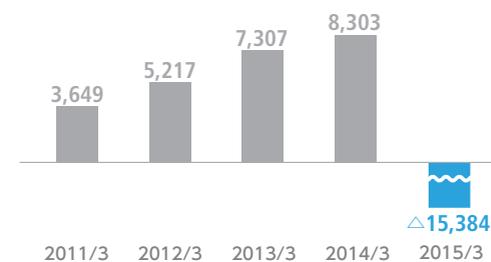
## 自己資本比率の推移 (単位:%)



## ROE/ROA (単位:%)



## フリー・キャッシュ・フロー (単位:百万円)

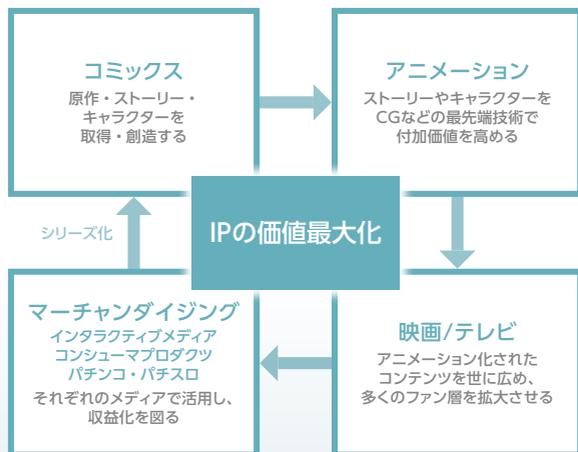


# パートナー企業と連携し IPの創出・事業化に 取り組んでいます

当社グループは、中長期的な成長戦略として、IPを中核に据え、マルチメディアに展開する循環型ビジネスを推進しています。

2015年3月期（当期）までに取得・創出、または協業にて取り組んでいるIP総数は150本となり、当期は85メディアに展開しました。本ページでは、当期の主なIPの創出・事業化の取り組みについてご紹介します。

## 成長するビジネスモデル



メディア展開

スマートフォン

### アイコンの説明

- コミックス
- マーチャンダイジング
- 映像
- ライブエンタテインメント
- ゲーム
- パチンコ・パチスロ

- [4月] テレビドラマ**  
『セラーズンビ』  
— テレビ東京系列にて放送 (全12話)
- [5月] スマートフォンアプリ**  
『AKB48グループ ついに公式音ゲーでした。』
- [4月] アーケードゲーム**  
『セラーズンビ AKB48  
アーケード・エディション』
- [4月] 月刊ヒーローズ**  
『セラーズンビ』連載開始

1Q (2014年4月～6月)

## PICK UP 1 『ソウルリヴァイヴァー』

ハリウッド映画制作会社などと共同プロジェクトを始動。ハリウッド実写映画化に向けた脚本開発が進行中。



©Tohru Fujisawa Manabu Akishige

- [9月] 小説シリーズ**  
『うしろ ふきげんな死神。』
- [7月] テレビシリーズ**  
『ウルトラマンギンガS』  
— テレビ東京系列にて放送 (2期・全16話)
- [7月] テレビアニメ**  
『アカメが斬る!』  
— TOKYO MXほかにて放送 (全24話)
- [9月] スマートフォンアプリ**  
『ことこと-ラセツとコトダマの国-』
- [8月] パチスロ**  
『パチスロ 戦国BASARA3』  
— 販売台数20,000台
- [7月] ヒーローズ連載作品**  
『ソウルリヴァイヴァー』  
実写映画化プロジェクト始動

2Q (2014年7月～9月)

**PICK UP 2** 『CRエヴァンゲリオン9』

1995年の誕生以来、幅広いメディアで絶大な人気を誇るコンテンツを活用した人気パチンコ・シリーズ。2004年の登場から10周年を迎えたアニバーサリーモデル。



©カラー ©Bisty

**[10月] テレビアニメ**  
『クロスアンジュ 天使と竜の輪舞』  
— TOKYO MXほかにて放送 (全25話)

**[12月] ソーシャルゲーム**  
『フリージングヴァイブレーション 聖痕の翼』

**PICK UP 2** **[12月] パチンコ**  
『CRエヴァンゲリオン9』  
— 販売台数102,000台

**[10月] パチンコ**  
『CR ayumi hamasaki2』  
— 販売台数23,000台



©ヒーローズ

**[11月] 月刊ヒーローズ3周年**  
『仮面ライダークウガ』(11月)  
『アトム ザ・ビギニング』(12月) 連載開始

**[11月] ヒーローズコミックス**  
『ULTRAMAN』  
第5巻発売で累計発行部数150万部突破

**[10月] ヒーローズ連載作品**  
『ソードガイ 装刀凱』  
テレビアニメ化プロジェクト始動

**[3月] 映画**  
『劇場版 ウルトラマンギンガS  
決戦! ウルトラ10勇士!!』

**[1月] 映画**  
『アップルシード アルファ』

**PICK UP 3** **[3月] スマートフォンアプリ**  
『アニマル×モンスター』

**[2月] ソーシャルゲーム**  
『アカメが斬る!』

**[3月] ライブエンタテインメント**  
『ウルトラヒーローズ THE LIVE  
アクトバトル クロニクル』

**[3月] ライブエンタテインメント**  
詠舞台『蟲師』

**[3月] パチンコ**  
『ぱちんこウルトラバトル烈伝  
戦えゼロ! 若き最強戦士』  
— 販売台数79,000台

**[3月] パチスロ**  
『パチスロ ベルセルク』  
— 販売台数20,000台



©三浦建太郎 (スタジオ我画)・日泉社/  
BERSERK FILM PARTNERS  
©NANASHOW

**[1月] パチンコ**  
『CRバットマン 灼熱のゴッサムシティ』

**[1月] パチスロ**  
『サラリーマン金太郎 出世回胴編』  
— 販売台数42,000台

**PICK UP 4** 『A MAN of ULTRA』

「ウルトラな男を創り出す」というコンセプトを形にするコンセプトチュアル・ライセンス。キャラクターをリアルに表現しないという制約のもと、「A MAN of ULTRA」のコンセプトや世界観を、自由な表現方法で商品開発することのできる新ライセンスブランド。



©TSUBURAYA PROD.

**[4月] アニメーション**  
『ニンジャスレイヤー フロムアニメイション』

**[5月] スマートフォンアプリ**  
『amino-趣味の話を、好きなだけ』

**[4月] 飲食**  
『元祖怪獣酒場』

**[6月] パチスロ**  
『エヴァンゲリオン・希望の槍』

**PICK UP 4** **[4月] 新ライセンスブランド**  
『A MAN of ULTRA』発表

**[3月] スマートフォンアプリ**  
『アニマル×モンスター』  
リリース12日間で100万DL突破

**PICK UP 3** 『アニマル×モンスター』

2015年3月にリリースしたスマートフォン向けゲームアプリ。画面をタップして玉を射出する直感操作の白熱バトルと、様々なキャラクターたちの育成要素が楽しめる新感覚の“跳弾バトルRPG”。



©FIELDS ©INTENSE

**3Q** (2014年10月~12月)

**4Q** (2015年1月~3月)

**1Q** (2015年4月~6月)

## Corporate Social Responsibility

企業の社会的責任 (CSR) への取り組み

### フィールズのCSR

当社は「すべての人に最高の余暇を」提供するという企業理念のもと、創業来、より多くの人の余暇時間の充実のため、より多くの人の笑顔のために、素晴らしいエンタテインメントとは何かを研究し、その創造に向けて挑戦し続けています。

21世紀の成熟化する社会においては、人々の余暇時間の増加傾向は続いていくものと認知されています。当社は、この増加をたどる余暇に対して商品・サービスを提供し、余暇の充実を図ることで、人々の生活や人生を豊かにできると考えています。さらに、これらの取り組みを持続的に行うことが、社会全体の幸せにつながると確信しています。

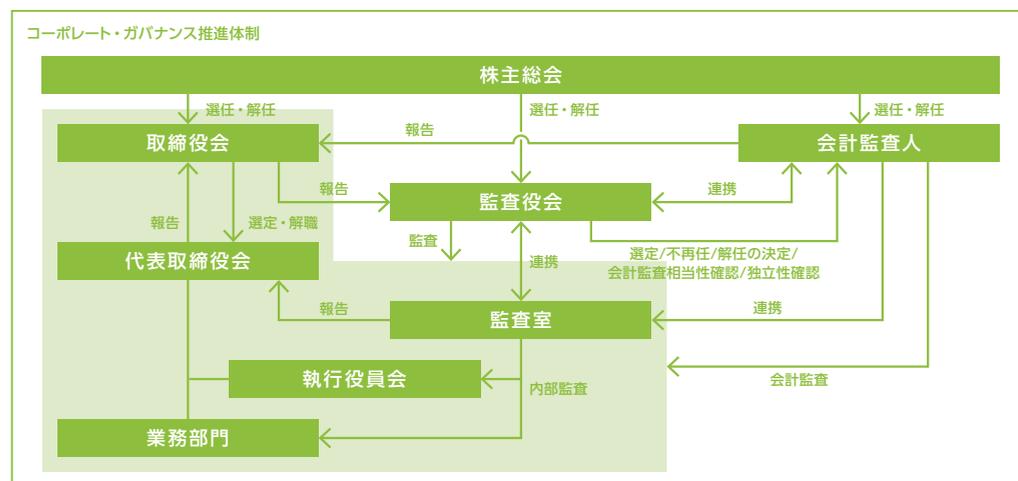
このように当社では、企業理念に基づいた行動そのものが社会的責任を果たすことであり、こうした考えに基づき行動することが、当社グループの商品・サービスをご愛顧いただいている皆様や、資本をお預けいただいている株主の皆様、そして当社グループを取り巻くすべてのステークホルダーの皆様に対する責務であると考えています。



### コーポレート・ガバナンスの状況

当社は、「すべての人に最高の余暇を」提供することを使命とし、企業価値を継続的に高めていくことを経営の基本方針としています。

この基本方針を実現するために、コーポレート・ガバナンスを有効に機能させることが、当社の重要な経営課題の一つであると考えています。コーポレート・ガバナンス体制強化については取締役会、監査役会、会計監査人及び執行役員会という枠組みの中で経営機構や制度の改革を進めていきます。

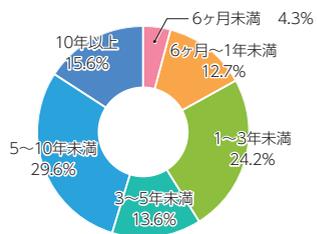


### 株主アンケート結果のご報告

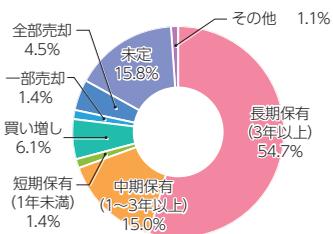
2015年3月期 株主通信（中間）をお届けした際に実施いたしましたアンケート結果の一部をご報告いたします。お忙しいところ、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見・ご要望は今後のIR活動に活かしていきます。

アンケート実施期間：2014年12月～2015年1月 回答数：657件（回答率：7.7%）

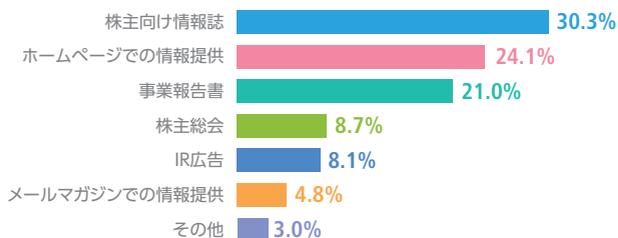
#### 当社株式の保有期間



#### 当社株式の保有方針



#### 充実を希望する当社のIR活動



#### 当社IRサイトのご紹介



当社は、IR活動の一層の充実を図り、株主並びに投資家の皆様に、よりお役立ていただける情報提供とコミュニケーションの場づくりを心掛けていきます。

<http://www.fields.biz/ir/j/>

### 個人投資家向け会社説明会を実施しています



株主及び個人投資家の皆様に当社への理解を深めていただきたいとの思いから、全国各地で会社説明会を実施しています。

2015年3月期は、東京3会場と札幌、福島、山形、小田原の計7会場で開催し、約620名の方にご来場いただきました。

今後もこのような説明会を継続的に実施し、対話させていただく機会を積極的に提供していきたいと考えています。

### 2015年6月までの主なIR活動の実施報告

2014年	5月	2014年3月期決算説明会・電話カンファレンス開催 事業戦略説明会開催 個人投資家向け会社説明会開催（東京）
	6月	個人投資家向け会社説明会開催（東京） 第26回定時株主総会開催 海外IR実施
	8月	2015年3月期1Q決算説明会開催 個人投資家向け会社説明会開催（札幌）
	9月	個人投資家向け会社説明会開催（福島・山形・東京）
2015年	11月	2015年3月期2Q決算説明会開催 海外IR実施
	12月	海外IR実施 個人投資家向け会社説明会開催（小田原）
	2月	2015年3月期3Q決算説明会開催
	4月	個人投資家向け会社説明会開催（東京）
	5月	2015年3月期決算説明会開催
	6月	第27回定時株主総会開催

※今後の個人投資家向け会社説明会の開催予定は、当社IRサイトにてご案内いたします。

#### 参加者の方からいただいた質問にお答えいたします

**Q** フィールドズはどのようなコンセプトをもって作品を創出しているのか？

**A** 国内外問わず、幅広い世代から親しまれるキャラクターやストーリーとして、ヒーローというコンセプトを掲げ、現在はその創出・育成を進めています。

**Q** 円谷プロダクションの収益性を今後どのように上げていくのか？

**A** ウルトラマンシリーズを活性化すべく、新テレビシリーズの放送など、様々な諸施策を進めてきました。これにより債務超過が解消され、今後は、様々なパートナーの協力も得ながら、東南アジアをはじめ海外にも積極的に展開することで、新たなファン層を創出し、収益性を高めていきたいと考えています。

## Corporate Data / Stock Information

### コーポレートデータ / 株式情報

#### 会社概要

(2015年3月31日現在)

商号	フィールズ株式会社 (英文: FIELDS CORPORATION)
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」
設立	1988年6月
本社所在地	〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番17号 渋谷ガーデンタワー
資本金	7,948百万円
従業員数	1,716名(連結)
事業内容	1. キャラクター、コンテンツの企画開発、販売 2. 映像ソフトの企画開発、販売 3. 遊技機の企画開発 4. 遊技機の仕入、販売
連結対象会社	ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株) (株)フューチャースコープ (株)デジタル・フロンティア (株)BOOOM (株)円谷プロダクション … など計15社

#### 役員

(2015年6月29日現在)

代表取締役会長	山本 英俊
代表取締役社長	大屋 高志
取締役副社長	秋山 清晴
取締役副社長	繁松 徹也
常務取締役	栗原 正和
常務取締役	藤井 晶
常務取締役	小澤 謙一
取締役(計画管理本部長)	山中 裕之
取締役(コーポレート本部長)	伊藤 英雄
取締役(PS事業統括本部長)	藤島 輝男
取締役(メディアリレーション事業本部長)	菊池 伸之
取締役(イメージングプロデュース本部長)	鎌形 英一
社外取締役	糸井 重里
社外監査役 常勤	池澤 憲一
社外監査役	小池 敦夫
社外監査役	古田 善香
社外監査役	中元 紘一郎
執行役員(法務室長)	末永 徹
執行役員(コーポレートコミュニケーション室長)	畑中 英昭
執行役員(PS事業統括本部営業本部長)	若園 秀夫
執行役員(コンテンツプロデュース本部長)	小澤 洋介
執行役員(研究開発室長)	大塩 忠正
執行役員(IPマーケティング本部長)	清水 憲忠
執行役員(コンシューマサービス事業本部長)	山村 豪快男

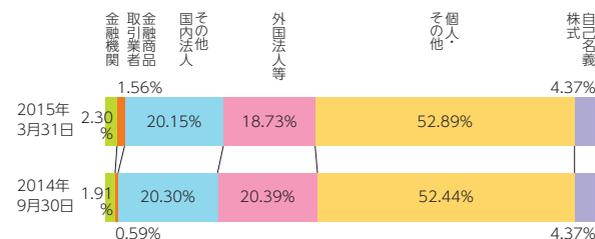
(注) ( )内は主たる役職となっています。

#### 株式状況

(2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	138,800,000株
発行済株式総数	34,700,000株
自己名義株式	1,516,200株
株主数	8,641名

#### 所有者別株式分布状況



#### 大株主

(2015年3月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
山本 英俊	8,675,000	25.00
(株)SANKYO	5,205,000	15.00
山本 剛史	3,612,800	10.41
(有)ミント	1,600,000	4.61
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVIO1	1,461,200	4.21
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	702,021	2.02
ステートストリートバンクアンドトラスト カンパニー505103	565,800	1.63
大屋 高志	450,000	1.30
ステートストリートバンクアンドトラスト カンパニー505019	432,100	1.25
ザバンクオブニューヨーク・ジャスディック トリーティアアカウント	413,300	1.19

(注) 当社保有の自己名義株式は大株主(上位10名)から除いています。

## 第三者による フィールズの分析レポート

フィールズ(株)(以下、同社)は現在大きな転換点に差し掛かっているとみています。それは、遊技機分野を主力事業としつつ、従来より打ち出してきた知的財産(IP)の多面展開を基幹とする戦略が徐々に実を結びつつあるためです。2015年4月14日には東証一部への市場変更も行き、エンタテインメント企業として新たなステージへ差し掛かっていると考えています。

企業としての同社の強みは、1) 主力事業である遊技機分野での競争優位性、2) IPを自社で創出・多面展開できる能力、3) コンテンツホルダーとしての優位性、と考えています。

遊技機分野に関しては同社の主力事業であり、競争優位性の高い事業だと考えています。短期的には規制の影響もあり、やや不透明な市場環境が続く見込みですが、遊技機流通業として、競合他社がない同社のユニークなビジネスモデル、営業力・販売力の強さ、日本中に張り巡らされた販売網などを考慮すれば、今後も同社の主力事業としての位置づけに変わりはないと考えます。

また、IPを自社で創出・多面展開できる能力も強みであると考えます。例えば、同社のコミック誌『月刊ヒーローズ』から産み出された作品はヒーローズIPとして、コミックス、映像、マーチャン

ダイジングなどの分野でクロスメディア展開されています。また、IPの価値向上のために有力な外部パートナーとのネットワークを持っていることも多面展開においては強みになると考えています。

加えて、同社はウルトラマンをはじめとした円谷プロのIPや他社との協業IPも含めて数多くのコンテンツを持っており、今後プラットフォームの多様化が進む市場環境下においては同社の競争優位性は高まると考えます。過去のエンタテインメント分野でのプラットフォームといえば、テレビ、書籍、専用ゲーム機など限られたものが中心となってきましたが、現在ではPC・スマートフォンの普及やテクノロジーの進化もあり、プラットフォームの多様化が急速に進んでいます。今後プラットフォームの多様化や遷移が更に進む中では、プラットフォームに依存しないコンテンツの重要性は益々高まってくるでしょう。コンテンツを持つ企業にとっては、プラットフォームの拡大は販路の拡大を意味し、より幅広い分野・顧客層へのアクセスによる収益機会の拡大に繋がると考えます。一方、コンテンツ・IPの創出には長い時間を要するため、すでに複数のコンテンツを持つ同社の競争優位性は高まるでしょう。外部環境でいえば、経済産業省もクールジャパン戦略の一環として日本のコンテンツの世界展開に積極的に取り組んでおり、同社にとっては追い風となる可能性があると考えます。

短期的には遊技機分野での規制の影響を見極める局面になると考えますが、中長期的な視点でのIP戦略の結実、エンタテインメント企業として新たなステージでの成長に注目したいと考えています。

※ 特定の企業に関する開示事項を含めたパークレイズ・リサーチの重要な開示事項については<http://publicresearch.barclays.com>をご参照下さい。



沖汐 勇樹 Yuki Okishio

レジャー及び  
アミューズメントセクター担当

2012年1月、パークレイズ証券株式会社に入社。株式アナリストとしてレジャー及びアミューズメントセクターを担当する。パークレイズ入社前は、アバディーン投信投資顧問株式会社にてインベストメント・アナリストとして従事。インディアナ大学大学院公共政策学部(SPEA)にてMPAを取得。

# Shareholder Memo

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び 全国各支店で行っております。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 証券コード:2767
公告方法	電子公告 URL <a href="http://www.fields.biz/ir/">http://www.fields.biz/ir/</a> (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

### ◎住所変更のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。

### ◎未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。

### ◎「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

## すべての人に最高の余暇を

### 企業理念への想い

### VOICE

当社は、このたびの東証一部上場をさらなる成長の機会とすべく、今後ますます、IP(知的財産)を中核とするビジネス展開を力強く推進していきます。

また、私はIPの育成を側面からサポートすべく、ファン拡大に向け、様々なメディアを活用したリレーション構築に尽力しています。

対外的なプロモーションでは、コミックスや映像、ゲーム、パチンコ・パチスロなど、様々な商品やサービス展開においてIPそのものの魅力を伝えるよう努めています。また、従来の手法や手段にとどまらない新しいプロモーションスタイルを構築すべく取り組んでいます。

一方で、インナーコミュニケーションにおいても、グループ企業を含めた社員一人ひとりからより素晴らしいアイデアが生まれるよう、その仕組みづくりに尽力しています。

当社は、これからも企業理念の実現に向け、挑戦を続けていきます。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

文・表紙文字=取締役(メディアリレーション事業本部長)

菊池 伸之

### IRお問い合わせ先

フィールズ株式会社

コーポレートコミュニケーション室 IR・広報課

☎TEL 03-5784-2109 ☒MAIL [ir@fields.biz](mailto:ir@fields.biz)

### 見通しに関する注意事項

本冊子に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご告知おきください。なお、本冊子に記載されている商品・サービス名は、各社の商標又は登録商標となります。



この冊子は環境保全のため、  
植物油インキとFSC®認証紙  
を使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の  
考えに基づいた見やすいデザイ  
ンの文字を採用しています。